ファシリテーター紹介

（敬称略）

クロス京子　くろすきょうこ
京都産業大学　国際関係学部教授

専門	国際関係論、紛争解決学、移行期正義、人間の安全保障
最終学歴	神戸大学大学院法学研究科博士課程後期課程満期取得退学（博士・政治学）
職歴	2016.4-2019.3 立命館大学国際関係学部准教授 2019.4-2022.3　京都産業大学国際関係学部准教授 2022.4-　現在に至る
主な著書など	・「『女性・平和・安全保障』のパラドックスージェンダーから見る紛争後リベリアのハイブリッド治安部門改革」『国際政治』194 号、2018 年、pp.141-156。 ・「平和構築と正義の課題」『安定を模索するアフリカ』ミネルヴァ書房、2017 年、pp.126-147。 ・『移行期正義と和解―規範の多系的伝播・受容過程』有信堂高文社、2016 年。
参加者へメッセージ	広島と長崎に原爆が投下されてから 75 年以上が経ち、日本では戦争の記憶が薄れてきました。他方で、この間、世界では熾烈な戦争が止むことはなく、市民の犠牲は増え続けています。この悲惨な戦争をなくすためにはどうしたらいいでしょうか。平和な世界を創るために、広島から何が学べるでしょうか。正解のない問いを、多様なバックグラウンドを持つ同年代の仲間たちと一緒に考えてみましょう。

佐藤史郎　さとうしろう
東京農業大学　生物産業学部教授

専門	国際関係論、安全保障論、平和研究
最終学歴	立命館大学大学院国際関係研究科博士後期課程修了。博士（国際関係学）
職歴	大阪国際大学国際教養学部准教授
主な著書など	共編『安全保障の位相角』（2018 年）、共編『日本外交の論点』（2018 年）など。
参加者へメッセージ	・このフォーラムは、核兵器と平和構築をめぐる問題について、あなたの知見を高めてくれます。 ・この機会を通じて、たくさんのお友達を作ってください。

佐渡　紀子　さどのりこ
広島修道大学　国際コミュニティ学部教授

専門	平和学、国際政治
最終学歴	大阪大学大学院国際公共政策研究科博士後期課程
職歴	2000 年~2003 年大阪大学大学院国際公共政策研究科　助手 2002 年 7 月～2002 年 9 月ヘンリー・L・スチムソン・センター（米国・ワシントン D.C.）　客員研究員 2003 年~2005 年（財）日本国際問題研究所　研究員 2005 年～2007 年広島修道大学法学部　助教授 2007 年～2014 年広島修道大学法学部　准教授 2014 年～2018 年広島修道大学法学部　教授 2018 年 4 月～現在に至る 広島修道大学国際コミュニティ学部　教授
主な著書など	「国際共生と『共通の安全保障』」黒澤満編『国際共生と広義の安全保障』（東信堂、2017）、「拡散する核兵器」藤原帰一・大芝亮・山田哲也編『平和構築・入門』（有斐閣、2011 年）、「欧州における核軍縮・不拡散――地域的アプローチとその限界」浅田 正彦・戸崎洋史編・著『核軍縮核不拡散の法と政治』（信山社、2008 年）、「欧州の軍備管理・不拡散にみる国際秩序の変容――通常兵器規制を素材として」『国際安全保障』35 巻 4 号（2008 年 3 月）。
参加者へメッセージ	広島のまちは、平和を学び行動を起こす人たちが集う場所であることを目指しています。この「ひろしまジュニア国際フォーラム」は、そのための取り組みのひとつです。このフォーラムは、参加者の皆さんが専門家の講義を通じて新たな知識を手に入れる場であり、同時に、参加者同士が互いの経験や考えから学ぶ場でもあります。未来を担う皆さんには、このフォーラムを、世界の平和を目指す「良き仲間」に出会う場にしてもらいたいと思います。

中内　政貴　なかうちまさたか
上智大学　総合グローバル学部教授

専門	国際関係論、平和構築論
最終学歴	博士（国際公共政策）
職歴	外務省専門調査員、国際協力機構（JICA）長期専門家、大阪大学准教授
主な著書など	共編著『資料で読み解く「保護する責任」－関連文書の抄訳と解説』大阪大学出版会、2017 年
参加者メッセージ	まずは、このプログラムを目いっぱい楽しんでください。難問を考えること、理想を持って行動することは苦しいと思います。特に、世界が大きな転換点を迎えている今、悲観的になってしまうかもしれません。でもこのプログラムを通して、お互いを理解すること、協力の可能性を発見することが、世界を良い方向に変える第一歩になるかもしれません。私たちと一緒にチャレンジしましょう。

堀部　純子　ほりべじゅんこ
名古屋外国語大学　世界共生学部世界共生学科准教授

専門	核不拡散、核セキュリティ
最終学歴	モントレー国際大学大学院国際政策学専攻修了 大阪大学大学院国際公共政策研究科後期課程（単位取得退学）
職歴	日本国際問題研究所軍縮・不拡散センター、軍縮会議日本政府代表部専門調査員、国際原子力機関など。
主な著書など	「2022 年度版ひろしまレポート」及び「2021 年度版ひろしまレポート」の第 3 章核セキュリティを執筆担当
参加者へメッセージ	10 年後、30 年後、50 年後の世界がどうあって欲しいか、そのためには具体的に何が必要かを考える機会にして欲しいです。核兵器廃絶の実現は難しい課題です。まずはなぜ難しいのかを知り、一歩でも前に進めるための学びとなるよう、様々な国の同世代の参加者と意見を交わし、共に考えることを期待します。若い世代の皆さんらしい自由で創造的な考えを聞けることを楽しみにしています。

山根　達郎　やまねたつお
広島大学大学院　人間社会科学研究科国際平和共生プログラム准教授
広島大学　総合科学部　国際共創学科准教授

専門	国際関係論
最終学歴	博士（国際公共政策）
職歴	1999-2000: 日本政府代表部専門調査員（政務班） 2003-2004: ディレクター、スリランカ平和構築プロジェクト、非営利活動法人 AMDA 2005-2007: 広島大学研究員 2007-2011: 広島大学助教 2010: ヘルシンキ大学客員研究員 2012-2013: 大阪大学特任講師 2013-: 広島大学准教授
主な著書など	山根達郎「テロ対策と両立する『領土的一体性』に挑むマリ」、足立研幾編『セキュリティ・ガヴァナンス論の脱西欧化と再構築』ミネルヴァ書房、2018 年、49-74 ページ。
参加者へメッセージ	私は現在、武力紛争の性質はどのようなものか、また国際社会が紛争解決や紛争後平和構築のどのように努力を重ねてきているかについて研究しています。平和を追求することは、人類に必要な中心課題の一つであり、だからこそ、このフォーラムに参加をしてくれる生徒の皆さんが人間の尊厳を大切にして世界をもっと平和な場所にいざなってくれることを願っています。

Daniel James　ダニエル　ジェイムズ
広島修道大学　国際コミュニティ学部教授

専門	• 多読・多聴 • 共通語会話における 非言語コミュニケーション・沈黙
最終学歴	修士
職歴	2002-2016 鈴峯女子短期大学 2016~現在：広島修道大学
参加者へメッセージ	現代社会において、平和とは何か、平和構築とは何かを考えることは、これまで以上に重要なことだと思います。皆さんとお会いして、平和や平和構築についてどのような考えをお持ちなのか、知ることができるのを楽しみにしています。